

「荒瀬ダム撤去技術研究委員会」設置の概要

【設置趣旨】

荒瀬ダムの撤去については、平成15年6月に「荒瀬ダム対策検討委員会」及び「ダム撤去工法専門部会」を設置し、治水や河川環境に配慮したダム撤去となるよう、撤去計画の検討を進め、平成18年3月にダム撤去方針を策定、平成20年3月まで、撤去工法等について詳細に検討を行っていた。

その後、取り組みを中断していたが、このたび、再び撤去に向け準備を進めることとした。

荒瀬ダムの撤去については、全国初の本格的なダム撤去となることから、今後のモデルとなるよう、安全面、環境面の技術を確立するとともに、その過程をきちんと残し、今後役に立てていく必要がある。

このため、平成24年度からの本体撤去着工を見据えた「荒瀬ダム撤去計画」を策定するに当たり、これまでの検討結果について、最新の知見やダムを取り巻く環境等の変化を踏まえ、その影響等を改めて確認・検証するとともに、県に対する指導・助言を頂くため、本委員会を設置する。

【分野】

《河川工学》

ダム撤去に伴い、ダム貯水池では湛水状態から流水状態になり、ダム貯水池堆積土砂が下流へ流出するため、河床変動や河床材料の変化等が考えられることから、河川工学の立場での指導・助言を頂くもの。

《環境》

ダム撤去に伴い、ダム貯水池周辺やダム下流での河川環境の変化が考えられることから、環境分野の立場での指導・助言を頂くもの。

《行政学》

ダム撤去については、河川法を踏まえた荒瀬ダム撤去計画とする必要があることから、行政学の立場での指導・助言を頂くもの。

【開催時期・テーマ（予定）】

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 第1回（4月） | 検討結果の確認及び現地調査 |
| 第2回（5～6月） | 検討結果の検証（河川工学の視点、環境の視点、行政学の視点） |
| 第3回（7月） | 「荒瀬ダム撤去計画（県案）」作成に向けた課題の整理 |



企業局による「荒瀬ダム撤去計画（県案）」作成

なお、「荒瀬ダム撤去計画（県案）」作成後は、環境モニタリング調査の評価・検証や撤去計画実施にあたる課題や問題点への指導・助言を頂くために、委員を再構成して行く予定。

報道資料（別添）

荒瀬ダム撤去技術研究委員会名簿（委員個票）

No 1

(ふりがな) 氏 名	(いけだ しゅんすけ) 池 田 駿 介
所 属	東京工業大学大学 名誉教授
主な職歴	1988 埼玉大学 教授 1988 米国・ミネソタ大学客員 教授 1989 米国・アイオワ大学客員 教授 1990 東京工業大学大学 教授 2010 東京工業大学大学 名誉教授
その他	中央環境審議会臨時委員 科学技術・学術審議会臨時委員 日本学術会議会員 日本工学会副会長

(敬称略)

報道資料 (別添)

荒瀬ダム撤去技術研究委員会名簿 (委員個票)

No 2

(ふりがな) 氏 名	(おおもと てるのり) 大 本 照 憲
所 属	熊本大学大学院自然科学研究科 教授
主な職歴	1981 九州大学工学部 助手 1991 熊本大学工学部 助教授 2004 熊本大学工学部 教授
その他	<p>主たる研究テーマは、土砂水理学、洪水流の動態解析、河川生態系、伝統的河川工法、河川災害リスクマネジメントに関する研究である。</p> <p>(社) 土木学会 応用力学委員会主査 (2006~2007)</p> <p>(社) 土木学会 水工学委員会基礎水理部会委員 (1990~)</p> <p>(社) 土木学会水俣土石流災害緊急調査団委員 (2003)</p> <p>(社) 土木学会台風14号災害緊急調査団委員 (2005)</p> <p>(社) 土木学会平成18年豪雨災害緊急調査団委員 (2006)</p> <p>国土交通省菊池川水系小浜地区川づくり委員会委員長 (2001~2006)</p> <p>国土交通省菊池川下流域自然再生委員会 委員長 (2006~2011)</p> <p>国土交通省 緑川、菊池川リバーカウンセラー (1998~)</p> <p>国土交通省水文観測委員会委員 (2002~)</p> <p>国土交通省緊急災害対策派遣ドクター (TEC-DOCTOR) (2009~)</p> <p>国土交通省球磨川水系の治水に関する客観性検討委員会委員 (2001)</p> <p>共著: 「加藤清正—築城と治水—」 (富山房インターナショナル 2006)</p> <p>「坪井川とともに暮らす」 (成文堂 2007)</p>

(敬称略)

報道資料（別添）

荒瀬ダム撤去技術研究委員会名簿（委員個票）

No 3

（ふりがな） 氏 名	（かしわい じょうすけ） 柏 井 条 介
所 属	（財）ダム技術センターダム技術研究所 首席研究員
主な職歴	専門分野 : ダム水理 研究テーマ等 : 貯水池の土砂管理、貯水池の水質対策、ダム 放流設備設計手法
その他	

（敬称略）

報道資料（別添）

荒瀬ダム撤去技術研究委員会名簿（委員個票）

№ 4

<p>(ふりがな) 氏 名</p>	<p>(すみ てつや) 角 哲 也</p>
<p>所 属</p>	<p>京都大学 防災研究所水資源環境研究センター 教授</p>
<p>主な職歴</p>	<p>1995 建設省土木研究所水工水資源研究室 主任研究員 1998 京都大学大学院工学研究科 助教授 2006 京都大学経営管理大学院 准教授 2009 現職</p>
<p>その他</p>	<p>土木学会水工学委員会環境水理部会委員 国土交通省委員会委員（淀川水系総合土砂管理検討委員会など） 国際大ダム会議河川流域の開発と管理におけるダムの役割委員会 委員</p>

（敬称略）

報道資料（別添）

荒瀬ダム撤去技術研究委員会名簿（委員個票）

No 5

<p>(ふりがな) 氏 名</p>	<p>(ふくおか しょうじ) 福 岡 捷 二</p>
<p>所 属</p>	<p>中央大学理工学部 特任教授 中央大学研究開発機構 教授</p>
<p>主な職歴</p>	<p>1975 東京工業大学 助教授 1994 広島大学 教授 2001 広島大学大学院 教授 2004 中央大学研究開発機構 教授 2008 中央大学理工学部 特任教授</p>
<p>その他</p>	<p>社会資本整備審議会 委員 社会資本整備審議会 河川分科会 委員 急流河川対策検討委員会 委員長 植生に着目した川づくりに関する検討会 委員長 美しい山河を守る災害復旧基本方針検討委員会 委員長 魚がのぼりやすい川づくり推進委員会 委員 河川審議会総合政策委員会 総合土砂管理小委員会専門委員</p>

(敬称略)

報道資料（別添）

荒瀬ダム撤去技術研究委員会名簿（委員個票）

No 6

（ふりがな） 氏 名	（ふじた こういち） 藤 田 光 一
所 属	国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 流域管理研究官
主な職歴	学 位 : 工学博士 専門分野: 河川環境工学 研究テーマ等 ① 河道計画・管理、多自然川づくり、河川環境の保全・回復技術 ② 河川に関わる環境アセスメント・環境評価技術 ③ 流域圏・流砂系の総合管理技術 等
その他	国土交通省河川局多自然川づくりアドバイザー 矢作ダム堰堤改良技術検討委員会（総合土砂管理）

（敬称略）

報道資料（別添）

荒瀬ダム撤去技術研究委員会名簿（委員個票）

No. 7

（ふりがな） 氏 名	（さとう ようへい） 佐 藤 洋 平
所 属	独立行政法人農業環境技術研究所 理事長
主な職歴	1995 筑波大学社会工学系教授 1996 東京大学農学部教授 東京大学大学院農学生命科学研究科教授 2004 東京農業大学教授 東京大学名誉教授 2005 現職
その他	武漢測繪科技大学名誉教授 北京師範大学客座教授 日本学術会議会員（2003～2005） 社団法人自然環境共生技術協会理事

（敬称略）

報道資料（別添）

荒瀬ダム撤去技術研究委員会名簿（委員個票）

№ 8

（ふりがな） 氏 名	（しのはら りょうた） 篠 原 亮 太
所 属	熊本県立大学環境共生学部 教授
主な職歴	1994 北九州市環境科学研究所アクア研究センター所長 1997 北九州市環境局環境保全部長 1999 熊本県立大学環境共生部 教授（現職） 2009 熊本県立大学地域連携センター長（現職）
その他	環境省・中央環境審議会化学物質評価専門委員会委員 環境省：中央環境審議会水質専門委員会委員 国土交通省・八代海域調査委員会委員 熊本県環境審議会会長 熊本市環境審議会会長 天草市環境審議会会長 宇城市環境審議会会長 菊池市環境審議会会長

（敬称略）

報道資料（別添）

荒瀬ダム撤去技術研究委員会名簿（委員個票）

N o 9

（ふりがな） 氏 名	（もり せいいち） 森 誠 一
所 属	岐阜経済大学経済学部教授（生物科学）、同大地域連携推進センター長
主な職歴	2002 岐阜経済大学経済学部 助教授 2003 現職
その他	日本魚類学会評議員・外来魚検討委員会部会長 応用生態工学会理事・副編集長 生き物文化誌学会理事・編集委員 淡水魚保全研究会・事務局長 越前大野「イトヨの里」館長 湧くわく水サミット実行委員会会長 東京農工大、山形大学、国土交通大学校非常勤講師 「日本水大賞」審査員 国交省、農水省、環境省、県市町の各種行政委員および代表

（敬称略）

報道資料 (別添)

荒瀬ダム撤去技術研究委員会名簿 (委員個票)

No 10

(ふりがな) 氏 名	(わしたに いづみ) 鷺 谷 い づ み
所 属	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
主な職歴	1992 筑波大学生物科学系助教授 2000 現職
その他	日本学術会議会員 (二部幹事) 中央環境審議会委員 林政審議会委員

(敬称略)

報道資料（別添）

荒瀬ダム撤去技術研究委員会名簿（委員個票）

No 11

<p>(ふりがな) 氏 名</p>	<p>(むらまつ みちお) 村 松 岐 夫</p>
<p>所 属</p>	<p>京都大学 名誉教授</p>
<p>主な職歴</p>	<p>1964 京都大学法学部 助教授 1976 京都大学法学部 教授 1992 京都大学大学院法学研究科 教授 1995 京都大学大学院法学研究科長・法学部長 2003 京都大学名誉教授 学習院大学法学部教授(2010 定年退職)</p>
<p>その他</p>	<p>日本政治学会理事長 (1995～1997) 日本行政学会理事長 (1998～1999) 衆議院選挙区確定審議会会長 (2010～2015) 国立大学法人評価委員会委員長 (2010～)</p>

(敬称略)

報道資料（別添）

荒瀬ダム撤去技術研究委員会名簿（顧問個票）

No 1

（ふりがな） 氏 名	（おおわだ こういち） 大和田 紘 一
所 属	熊本県立大学環境共生学部 教授
主な職歴	1979 水産庁養殖研究所環境管理部環境動態研究室長 1986 東京大学海洋研究所海洋微生物部門 助教授 1992 東京大学海洋研究所海洋微生物部門 教授 2003 東京大学 名誉教授 2001 現職
その他	日本海洋学会評議員（1987～2003） 日本水産学会理事（2000～2004） 不知火海・球磨川流域圏学会会長（2006～）

（敬称略）

報道資料 (別添)

荒瀬ダム撤去技術研究委員会名簿 (顧問個票)

No 2

(ふりがな) 氏 名	(しもつ まさし) 下 津 昌 司
所 属	元熊本大学 教授 ※荒瀬ダム対策検討委員会 委員長
主な職歴	学 位 : 工学博士 専門分野 : 河川水文学
その他	熊本県河川整備計画策定に係る学識者委員会委員 坪井川遊水池利活用検討委員会委員 白川流域住民委員会委員長 天草・三角水系河川環境管理基本計画及び天草地区溪流環境 整備計画協議会委員

(敬称略)

報道資料（別添）

荒瀬ダム撤去技術研究委員会名簿（顧問個票）

No. 3

（ふりがな） 氏 名	（たにぐち まさき） 谷 口 将 紀
所 属	東京大学大学院法学政治学研究科 教授
主な職歴	1996 東京大学大学院法学政治学研究科 助教授 2009 現職
その他	日本政治学会理事（2006～） 日本政治学会国際交流委員長（2006～2008）

（敬称略）